

食品産業ニュースレター

こんにちは、東北農政局です。2024年も残りわずかとなりましたが、皆様はどのような一年を過ごされたでしょうか。寒さも厳しくなってきましたので、お体に気をつけて、どうぞよいお年をお迎えください。

●お知らせ1

「第2回加工食品輸出クラスター組成のための食品製造事業者等向け勉強会」を開催しました

東北農政局は、加工食品輸出クラスターの新規組成を目指すとともに、輸出を行う食品製造事業者の裾野拡大を目的として、令和6年12月5日(木)に「第2回加工食品輸出クラスター組成のための食品製造事業者等向け勉強会」を開催しました。

【プログラム】

1. 加工食品の輸出について

輸出商社からみた加工食品輸出について(国分東北株式会社)

2. 加工食品輸出クラスターの組成について

- (1)「加工食品輸出クラスター」の組成による加工食品の輸出促進について(東北農政局)
- (2)加工食品クラスターの輸出取組ポイント・方向性(アクセンチュア株式会社)
- (3)加工食品輸出クラスターからの取組事例紹介
 - ・AOMORI サステイナブル ブランド協議会
 - ・(一社)発酵を核としたローカル食品輸出拡大コンソーシアム

3. 質疑応答

AOMORI サステイナブル ブランド協議会 小清水事務局長

協議会として大事にしている点として、自社の利益だけではなく協議会全体のブランド力向上、販路拡大に取り組むといったところを意識している。

(一社)発酵を核としたローカル食品輸出拡大コンソーシアム 佐藤代表理事

米系問屋に直接アカウント等がある当社の商流・物流をプラットフォームとして使っていただき、そこにいろんな商品を乗せ、パイプを太くしていろんな事業者にご利用してもらうことに取り組み始めている。



詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/tohoku/syokuryou/kakou_yusyutu/index.html#benkyoukai



●お知らせ2

「加工食品輸出事業者のための海外食品添加物規則セミナー」が開催されます

(一財)食品産業センターでは、海外食品添加物規制早見表の使い方等の紹介、海外の食品添加物規制や日本と海外の規制比較と最新情報の提供等を行う「加工食品輸出事業者のための海外食品添加物規則セミナー」を開催します。

- 日時: 令和7年1月24日(金) 13:00～16:30
- 会場: 新宿NSビル NSスカイカンパレンス30階 ルーム1+2 (東京都新宿区西新宿2丁目4-1)
- 定員: 会場90名、オンライン300名
- 申込締切: 令和7年1月10日(金) 17:00

セミナー内容 ※都合により講演の順序、講師等変更する場合があります。

- 加工食品国際標準化緊急対策 海外食品添加物規制早見表(Phase3)の紹介((一財)食品産業センター)
- 食品添加物規制について-日本と海外の規制比較-((一社)日本食品添加物協会 常務理事 木戸啓之氏)
- 基礎から学べる日本と海外の食品添加物規制について(仮)(元(一社)日本食品添加物協会 脊黒勝也氏)
- 開発支援公募採択事業者(食品製造事業者)における事例紹介(有楽製菓(株) 伊藤哲也氏)

詳細はこちら

<https://www.shokusan.or.jp/event/7916/>



●お知らせ3

新技術導入緊急対策事業の公募を行っています

農林水産省は、産地と連携した原材料調達計画を策定した食品製造事業者が食料システムの持続可能性を高めるために行う、製造ラインの自動化等の省人化や生産性向上に資する新技術（機械設備等）の導入を支援する、新技術導入緊急対策事業の公募を行っています。

補助対象者

食品製造事業者（中堅・中小企業に限る）

補助上限

5,000万円

補助率

1/2以内

補助対象経費

以下の条件を満たす機械設備

- 生産効率3%/年以上
- 販売後3年程度未満

補助要件

産地と連携した原材料調達計画の策定

公募期間

令和6年12月9日(月)～令和7年1月6日(月) 17:00(必着)

本事業の対象となる新技術の例

- 従来は複数の機械を併用して製造していた製品・工程を一つの機械で対応するなど、設備投資の効率化に資する技術
- 既存製品より生産効率が高く、小型化され工場への導入が容易な技術
- ほかの製造業では普及しているにもかかわらず、食品製造業では業界特有の理由により開発・普及されていない技術



◆ 新技術（機械設備等）の例

- ・多層包あん成形機
- ・自動パン粉付け機
- ・食品自動充てん機
- ・食品自動包装機
- ・弁当・惣菜用盛付ロボット
- ・製品検品用X線センサーシステム
- ・製品自動箱詰め装置

詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/kanbo/241209_031-2.html



●お知らせ4

2025年の恵方巻ロス削減に取り組む食品小売事業者の募集を開始しました

農林水産省は、来年の節分の日に向けて、恵方巻きのロス削減に取り組む食品小売事業者の募集を開始しました。応募いただいた事業者名等は来年1月下旬に農林水産省のホームページで公表します。また、応募いただいた事業者で希望される方には、予約購入の呼びかけや食品ロス削減を促す啓発コンテンツを提供します。

募集対象

以下のいずれかに取り組む食品小売事業者

- (1) 農林水産省が提供する啓発資材のほか、地方自治体や事業者独自の啓発資材等の活用により、消費者に対する予約購入等の呼びかけ
- (2) 予約販売
- (3) 製造・販売計画の工夫、需要予測の精緻化(例:過去の販売実績を考慮して、ロスの出にくい製造・販売計画を策定)
- (4) サイズやメニュー構成の工夫(例:前年は通常サイズ商品の廃棄量が多かったため、ハーフサイズの販売数量を増やす)
- (5) 当日のオペレーションの工夫(例:売れ行きに応じて、値下げ時間を前倒しする)

募集期間

令和6年12月19日(木)～令和7年1月24日(金)



▲ 啓発資材の例

詳細はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/recycle/241219.html>



発行元お問合せ先

東北農政局 経営・事業支援部 食品企業課 仙台市青葉区本町3-3-1(仙台合同庁舎A棟)
TEL:022-263-1111 (内線4558) E-mail:syokusanneews_tohoku@maff.go.jp